

ボジョレーの2024年： 努力と多様性のヴィンテージ！

2024年はフランスのワイン生産者にとって特に試練の年でした。ボジョレー地区では、不安定な天候が生長サイクルを乱し、収量に影響を与えました。2024年ヴィンテージの特別なキュヴェは現在、セラーから徐々に姿を現しつつあり、他のワインは醸造責任者の監視の下、熟成を続けています。ブドウの木が生長サイクルを再開し、ワイン生産者たちは次のヴィンテージに向けて懸命に働く一方で、2024年ヴィンテージの上質でフレッシュかつエレガントなスタイルが、今日の消費者の期待に充分に応えていることは、大変喜ばしいことです。

気象条件

雨が多く、とりわけ非常に穏やかな冬の後、3月の最終週に最初の葉が現れました。2024年は、2020年や2017年と同様、芽吹きが早いことも特徴です。

4月と5月の冷え込みは、ブドウの木の成長を妨げました。開花が始まったのは6月初旬でした。この間、降雨量は平年をかなり上回り（週にもよりますが、2日に1日、4日に3日）、病害の甚大な被害をもたらしました。このためワイン生産者たちは、袋かけ作業などブドウの木に寄生する害虫の発生を抑えるため、より一層の努力を払わなければなりませんでした。

概ね平年並みだった7月の後、ブドウの果実に糖分が蓄積し始めるヴェレゾンが8月の最初の数日に始まりました。局地的に激しい雹の嵐もあり、生産量は減少しました。8月は気温が高く（+1.6℃）、降雨量が少なかったため、ブドウの成熟は早いものでした。8月の好天によりブドウはよく熟し、高い品質が保証されました。

9月初旬にやや減速し、さらに雨が続いたため収穫が近づきましたが、ブドウは平均的な酸度と糖度をもち、色づきも良好でした。



ワイン醸造

近年より遅い収穫は、ボジョレー畑で生長の早かったエリアで9月6日から始まり、10月初旬まで続きました。冷涼なコンディションのおかげで、白ワインとロゼの発酵前段階をうまく管理することができ、赤ワインの発酵もスムーズに進みました。試練の時期を経て、ワイン生産者たちはようやく、醸造中に笑顔を見せることができました。





ベルトラン・シャトレ

ベルトラン・シャトレ、ボジョレーワイン醸造学研究機関
SICAREXエノログ

「すべてのヴィンテージは、挑戦です。今年は、困難なブドウ栽培と区画の不均質性によって、醸造をめぐる不安が高まりました。成熟の終わりは遅く、品質にとって重要な収穫日の選択には、ようやく落ち着いて取り組むことができました。最初に流れ出た果汁は、アロマの点では安心できるもので、果実味とフレッシュさが口中に広がりました。マセラシオンを長めに行うことで、ブドウは徐々に柔らかな骨格と補完的な色素を獲得し、2024年ヴィンテージは明るい色調となりました。このヴィンテージは消費者の期待に沿うような、フレッシュで軽やかなガメイとなりました。」

グラスにおける2024年 ヴィンテージ

ボジョレーのワイン生産者は、「それぞれのヴィンテージは尊重されなければならない」ということを知っています！ 2024年、太陽の光は乏しく、7月までは雨の日ばかりでした。白い果汁を持つ黒いガメイの土地で、ボジョレーのブドウ畑はひとつ切り札を持っています。果実味こそが、彼らの強みです。その真のメッセージは、セラーで感じることができます。グラスにワインを注ぐと、赤果実と黒果実がもつ独特のアロマが、新鮮な果実のバスケットのように広がります。出荷された冬から飲み始めることができ、消化もスムーズ、繊細で口当たりが滑らかです。少し冷やして、3年以上かけてから飲むのがベストです。



ジャン＝マルク・ラフォン

ボジョレーワイン委員会代表

「ボジョレー地方は、そのワイン、テロワール、風景、そこで働く人々にとって、かつてないほどの好影響を与えています。我々のブドウ畑は、消費者の想像力と飲酒習慣の中で、徐々に正当な地位を取り戻しつつあります。私たちのワインの現代性と多様性は、時に陽気でお祝いのようなムードがあり、生き生きとしてエレガントなものです。」

同時に、ボジョレーワイン産地は気候変動に適応し、関係者が環境責任（二酸化炭素排出量の削減、生物を尊重した新しい農業生態学的モデルの開発）に取り組むよう奨励する必要があります。各ワイン生産者は、ガメイ・ノワールの白果汁から造られるワインの真正性をアピールしなければなりません。ガメイ・ノワールは、ボジョレーのテロワールの多様性と相まって、フレッシュで美味しく風味豊かなワインの王様となっています。ワイン生産者とワイン商は、年々と要求の厳しくなる市場に直面していますが、ワイン、ブドウ畑、土地の区画の多様性が、新たな偉大なテロワールワイン、ボジョレーの特別なキュヴェを生み出し、それらは祝祭的、個性的なワインと見事に共存しています。

私たちの資産は数多くあります。私たちの美しい景観は、世界中からの訪問者に門戸を開き、ワイン・ツーリズムの発展を促進するために活用されなければなりません。土壌の多様性（300以上の土壌特性）により、各ワイン生産者は素晴らしいガメイ・ノワールのワインを生み出すことができます。シャルドネ100%のボジョレー白ワインは、間違いなく新世代の偉大な白ワインの一部となるでしょう。そして、ドメーヌ、セラー、商社が一体となって共有するダイナミズムと現代的なビジョンは、『ボジョレーの新しい世代』というプロジェクトの継続を可能にするでしょう。

私たちは、結束の強いボジョレーを望んでいます！」

ボジョレーワインについて

南はリヨン、北はマコネに挟まれ、東はソーヌ川に接するボジョレーのブドウ畑は、12のボジョレー・アペラシオンに13,000ヘクタールのブドウ畑を有します。2,000近い生産者と商社、9つの協同組合ワイナリーがこの地で繁栄しています。12のアペラシオンは、祝祭のボジョレー、個性のボジョレー、極上のボジョレーといった、ワインの表現に優れています。赤ワイン100%のボジョレー・クリュは、産地の北半分に広がっています。ブルイイ、シェナ*、シルーブル、コート・ド・ブルイイ、フルーリー、ジュリエナ*、モルゴン、ムーラン・ナ・ヴァン、レニエ、サン・タムール、そしてクリュを取り囲むように南に広がるボジョレーとボジョレー・ヴィラージュには、白ワイン、ロゼワイン、赤ワイン、そして新酒であるボジョレー・ヌーヴォーがあります。

ボジョレーワインについての詳しい情報は、「ボジョレー便利帳」をご覧ください。

* ボジョレーワイン委員会では、2つのアペラシオンの発音と表記を、下記のように推奨しています。
Chénas→シェナ Juliéna→ジュリエナ

輸出に関する連絡先

Inter Beaujolais
Olivier Badoureaux and Amandine Paris
Tel. +33(0)474 026 318
export@beaujolais.com



ボジョレーワインをフォローして下さい！

@beaujolaiswines_jp



www.beaujolais.com

ボジョレーワインPress

www.beaujolais-wines.jp

写真：

©Vins du Beaujolais / Etienne Ramousse,
Studio Baalt, Jarlot, Jonas Jacquet